

# どんぐり山行通信 黒川鶏冠山

第88号

2014年3月15日(土)

快晴

参加者 13名

くろかわけい canyon(1716m)



中央高速から国道411号を順調に走るも柳沢峠に近づくと凍結した道路になり、チェーンをつける。峠の登山道からは積雪しており、全員アイゼンを装着する。いきなりラッセル状態に、ここは男性軍の力仕事だ。古い足跡を頼りに進むが踏み外すと腰のあたりまでうずもれてしまう状態、まさに匍匐(ホク)前進をしている



ようで、後続者も歩幅が合わず四苦八苦している。しばらく行くと足跡が消え道らしき尾根の方向に進むが

どうもおかしい。地図のピークからみて登山道は北側の谷間と判断し下ることにする。後続者には戦意喪失気味だが本道を確認したと伝えると元気に。そこで見晴台まで行こうと気を取り直して進む。やがて看板が見えあと20分ぐらいで見晴台のようだ。分岐点からまたラッセルで進むとすぐに眼前が開け雄大な山並みが開けた。甲武信、破風、笠取、唐松尾山、飛龍の展望だ。雄大な山容を満喫しながらの昼食。あるはずのテーブルが見当たらないと思ったら1.5mの



雪に埋もれていた。男性群は立ったままの食事、恒例の集合写真を撮り帰途に着く、1時にはバスの待つ峠に。茶屋で休憩中のドライバーを呼び、ようやくバスに乗ることができた。帰りは入場無料の「ハーブ園」によってブルーベリーを試飲したが誰も買わないね。談合坂によって早めの帰着となる。思いがけない積雪の中での雪中行軍は良い経験にもなり、皆大いに楽しんだ様子だった。

見えあと20分ぐらいで見晴台のようだ。分岐点からまたラッセルで進むとすぐに眼前が開け雄大な山並みが開けた。甲武信、破風、笠取、唐松尾山、飛龍の展望だ。雄大な山容を満喫しながらの昼食。あるはずのテーブルが見当たらないと思ったら1.5mの



柳沢峠 9:20 - 分岐点 11:15 - 見晴台 11:20 (昼食) 12:00 -



柳沢峠  
13:00  
牛島記

